

地域社会とのかかわり

ANAグループの事業は地域・社会と密接な関係を持っています。ANAグループは良き企業市民として、地域や社会に広く貢献しています。そして、次世代を担う若者や子供たちへの支援のために、さまざまな取り組みを行っています。

社会貢献活動

アジアの国の人づくりを支援 —岡崎嘉平太国際奨学財団—

岡崎嘉平太国際奨学財団は、岡崎嘉平太第二代社長の遺志に基づき、アジアの国の人づくりを目的に1990年に創設され、今年で20周年を迎えました。同財団は、中国、タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア、ベトナム、ミャンマーから毎年数名の留学生を招聘して、日本の大学院（修士課程）に進学する支援を行っています。

これまで89名の奨学生を支援し、卒業生は母国で教鞭をとったり、政府機関や企業に就職したり、また日本や米国などその他の国で研究を続けたりして、母国の発展と日本との友好に努めています。



記念植樹をするアジアからの留学生の皆さん

中国河北省に小学校を寄贈

中国の文化・教育のさらなる振興と中国とのさらなる親交を願い、中国民用航空局を通じ、中国政府が運営する文化・教育振興募金事業「希望工程（プロジェクト）」

に参加し、1997年に「灤平県全日空藍天希望小学校」、2002年に「興隆県全日空藍天希望小学校」の2校を寄贈、2008年には両校にパソコンを導入しマルチメディア教室を設置しました。



興隆県全日空藍天希望小学校

機体メンテナンスセンターの工場見学

機体メンテナンスセンターでは、一般のお客様を対象に無料で工場見学を実施しており、修学旅行生やご家族連れなど、幅広くご参加いただいています。見学に訪れるお客様は年間6万人近くに上り、2009年4月に累計見学者数が50万人を超えました（2010年8月時点では57万人を超えています）。

機体メンテナンスセンター工場見学 Webサイト
<http://www.ana.co.jp/cp/kengaku>

●「しあわせの花 すずらん」をプレゼント

「しあわせ」「幸福の訪れ」などの花言葉を持つすずらんのプレゼントを、当社では1956年から50年以上にわたり続けています。2010年6月4日、ANAグループの客室乗務員と各地の地上スタッフが、赤十字病院をはじめとした全国54カ所の病院を訪問し、入院患者の皆さんに、すずらんで作った押し花のしおり16,000枚をお届けしました。この押し花は、北海道の新千歳空港近郊に咲くすずらんを、全国各地のANAグループの社員が、一つひとつ心を込めてしおりにしたものです。



すずらんの押し花のしおり

